

# スーパーマーケット景気動向調査

2016年6月調査結果（5月実績）  
（2016年6月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1.経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2.カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1.景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## 6月調査（5月実績）結果概況

### 景気判断DI 現状判断は43.3に悪化、見通し判断は弱含みな傾向が続く

5月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-3.5の43.3と大きく悪化、見通し判断は前月から-0.7の42.5と小幅に悪化した。

経営動向調査はすべてのDIが前月に比べマイナスとなった。売上高DIは-9.4（前月比-8.6）、収益DI-5.3（前月比-7.6）と共に大きく下落をみせている。来客数DIが-11.9まで落ち込みをみせたことに加え、仕入原価の低下により、販売価格DIが1.5まで低下していることが大きく影響している。

カテゴリ動向結果では、前月に比べすべてのDIが下落しとなり、DIもマイナスとなった。全般的に土曜日が一日少ない曜日めぐりや客数の減少が影響している。特にこれまで好調を牽引していた生鮮品の落ち込みが目立っており、相場安の青果DIが-13.1（前月比-16.1）と特に下落幅が大きく、畜産DI-6.4や水産DI-6.9もマイナスとなった。また前年が高温により好調であったカテゴリにも伸び悩みが目立っている。（カテゴリ動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、現状判断の落ち込みが大きく、見通し判断も総じて弱含みな結果となっている。長期トレンドでは現状判断、見通し判断共に引き続き下降傾向が継続している。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

これまで、来客数の低迷が続くなか、仕入原価や販売価格の下降傾向が続いていることへの不安を指摘してきた。価格上昇による売上増の好循環が試金石をむかえている局面であることに変化はなく、来客数の減少や客単価低下に歯止めがかかるかどうか今後の動向を注視したい。

#### 景況感調査

##### 現状判断

###### 景気判断DI

当月：43.3 (-3.5)  
前月：46.8

###### 消費者購買意欲DI

当月：44.1 (-3.6)  
前月：47.7

###### 周辺地域 競合状況DI

当月：41.0 (-2.3)  
前月：43.3

###### 店舗周辺地域 景気判断DI

当月：46.0 (-1.2)  
前月：47.2

##### 見通し判断

###### 景気判断DI

当月：42.5 (-0.7)  
前月：43.2

###### 消費者購買意欲DI

当月：43.5 (-1.1)  
前月：44.6

###### 周辺地域 競合状況DI

当月：39.5 (-2.0)  
前月：41.5

###### 店舗周辺地域 景気判断DI

当月：45.2 (-1.3)  
前月：46.5

#### 経営動向調査 経営状況

##### 売上高DI

当月：-9.4 (-8.6)  
前月：-0.8

##### 客単価DI

当月：4.7 (-2.7)  
前月：7.4

##### 来客数DI

当月：-11.9 (-4.7)  
前月：-7.2

##### 収益DI

当月：-5.3 (-7.6)  
前月：2.3

##### 販売価格DI

当月：1.5 (-3.7)  
前月：5.2

##### 生鮮品仕入原価DI

当月：4.4 (-3.1)  
前月：7.5

##### 食品仕入原価DI

当月：4.9 (-3.1)  
前月：8.0

#### カテゴリ動向

##### 青果DI

当月：-13.1 (-16.1)  
前月：3.0

##### 水産DI

当月：-6.9 (-3.9)  
前月：-3.0

##### 畜産DI

当月：-6.4 (-5.6)  
前月：-0.8

##### 惣菜DI

当月：-1.3 (-6.0)  
前月：4.7

##### 日配DI

当月：-1.0 (-6.2)  
前月：5.2

##### 一般食品DI

当月：-3.7 (-7.5)  
前月：3.8

##### 非食品DI

当月：-5.3 (-0.9)  
前月：-4.4

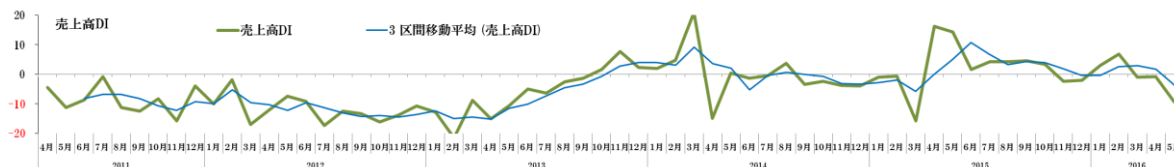
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

## 6月調査（5月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

### 1. 売上高DI

底堅い推移が続いていたが、当月大きく下落

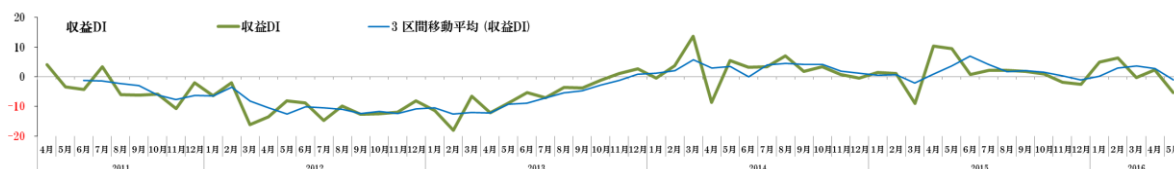
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	2.9	31.3	34.1	29.8	1.9	-0.8
売上高（当月）	<b>6.0</b>	<b>45.9</b>	<b>29.0</b>	<b>18.0</b>	<b>1.1</b>	<b>-9.4</b>



### 2. 収益DI

底堅い推移が続いていたが、当月大きく下落

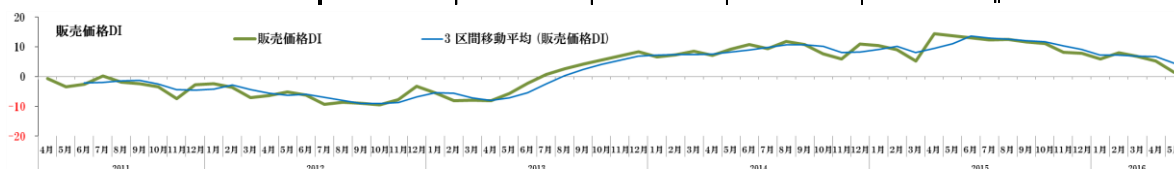
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	1.5	27.9	34.8	31.4	4.4	2.3
収益（当月）	<b>7.3</b>	<b>33.0</b>	<b>35.8</b>	<b>21.8</b>	<b>2.2</b>	<b>-5.3</b>



### 3. 販売価格DI

わずかなプラスを維持も、下降傾向が継続

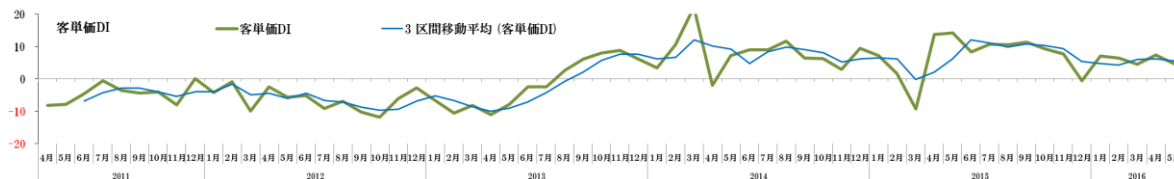
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	12.2	54.6	33.2	0.0	5.2
販売価格（当月）	<b>0.6</b>	<b>14.4</b>	<b>63.5</b>	<b>21.5</b>	<b>0.0</b>	<b>1.5</b>



### 4. 客単価DI

底堅い推移が続いていたが、当月は下落

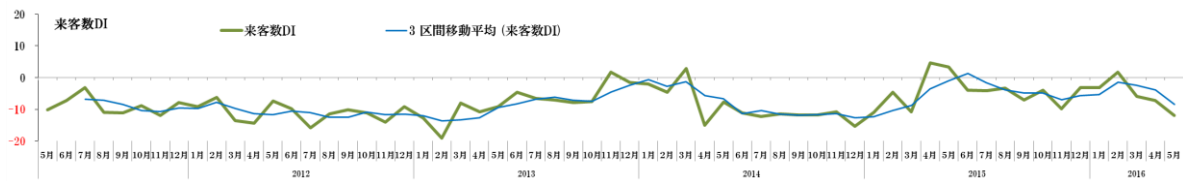
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.5	13.1	42.7	43.7	0.0	7.4
客単価（当月）	<b>0.0</b>	<b>17.7</b>	<b>45.9</b>	<b>36.5</b>	<b>0.0</b>	<b>4.7</b>



## 5. 来客数 DI

2桁マイナスに低下、引き続き弱含みな状況が続く

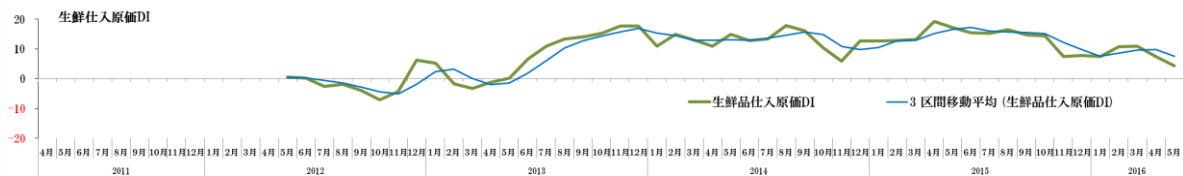
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.3	40.3	33.0	20.4	1.0	-7.2
<b>来客数 (当月)</b>	<b>6.6</b>	<b>49.2</b>	<b>30.1</b>	<b>13.7</b>	<b>0.5</b>	<b>-11.9</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

当月低下し、下降傾向が継続

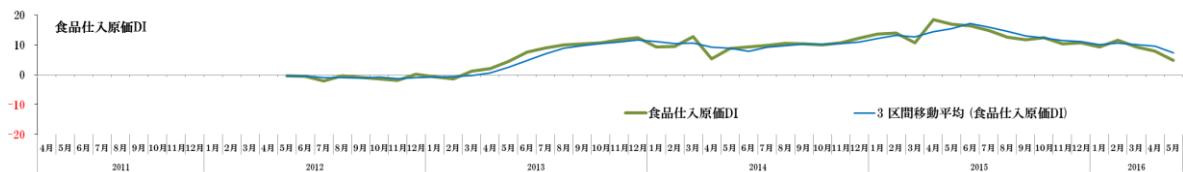
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	8.5	55.0	32.5	3.5	7.5
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>1.7</b>	<b>13.0</b>	<b>53.7</b>	<b>29.4</b>	<b>2.3</b>	<b>4.4</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

当月低下し、下降傾向が継続

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.5	7.5	54.2	35.3	2.5	8.0
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>1.1</b>	<b>8.5</b>	<b>61.0</b>	<b>28.2</b>	<b>1.1</b>	<b>4.9</b>

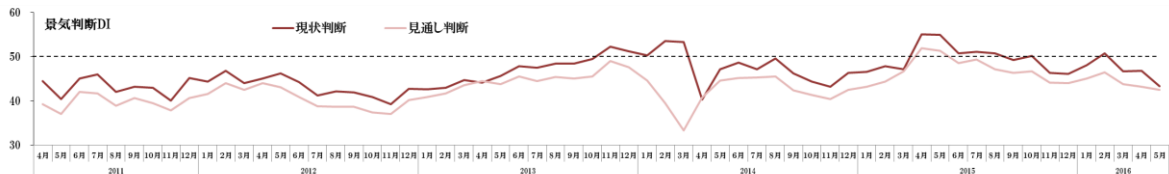


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景況判断のみ2010年4月～)

### 1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断は大きく悪化、見通し判断も小幅に悪化

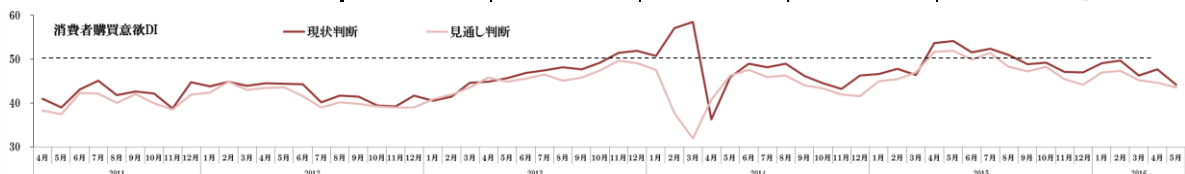
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	1.4	21.5	65.6	11.5	0.0	46.8
【現状】景況判断 (当月)	1.6	31.1	59.6	7.7	0.0	43.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	4.3	26.2	61.9	7.6	0.0	43.2
【見通し】景況判断 (当月)	3.3	30.6	59.0	7.1	0.0	42.5



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は大きく悪化、見通し判断も小幅に悪化

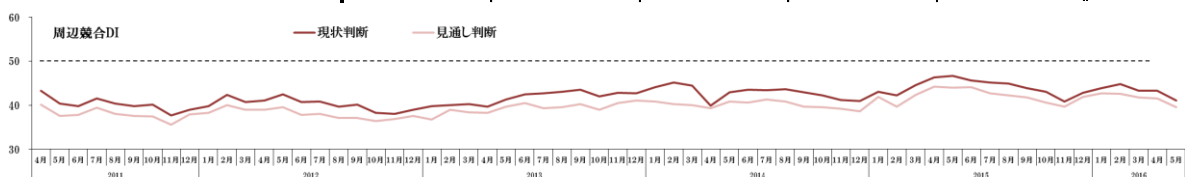
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	1.0	16.7	72.7	9.6	0.0	47.7
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	27.9	67.8	4.4	0.0	44.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	2.4	22.4	69.5	5.7	0.0	44.6
【見通し】購買意欲 (当月)	0.5	28.8	66.8	3.8	0.0	43.5



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に小幅に悪化

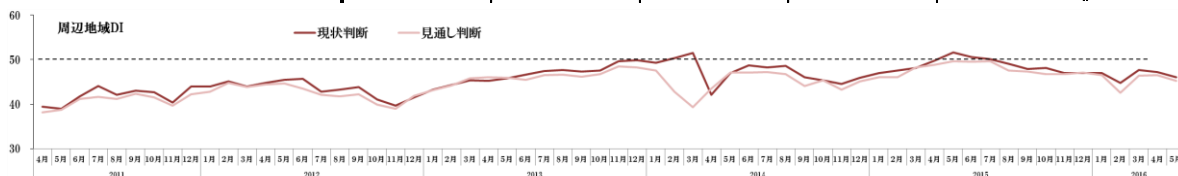
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	1.9	25.8	69.4	2.9	0.0	43.3
【現状】競合状況 (当月)	2.7	30.6	66.7	0.0	0.0	41.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	5.7	25.2	66.2	2.9	0.0	41.5
【見通し】競合状況 (当月)	4.9	32.1	63.0	0.0	0.0	39.5



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状、見通し判断共に小幅に悪化

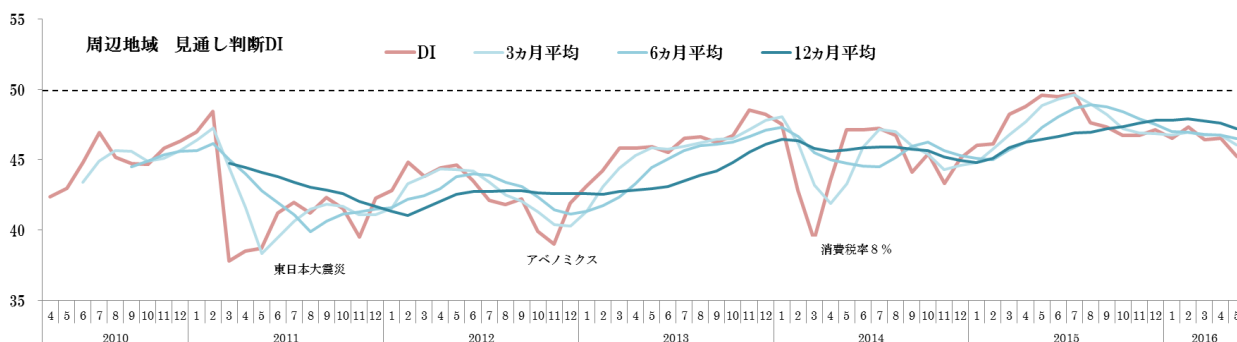
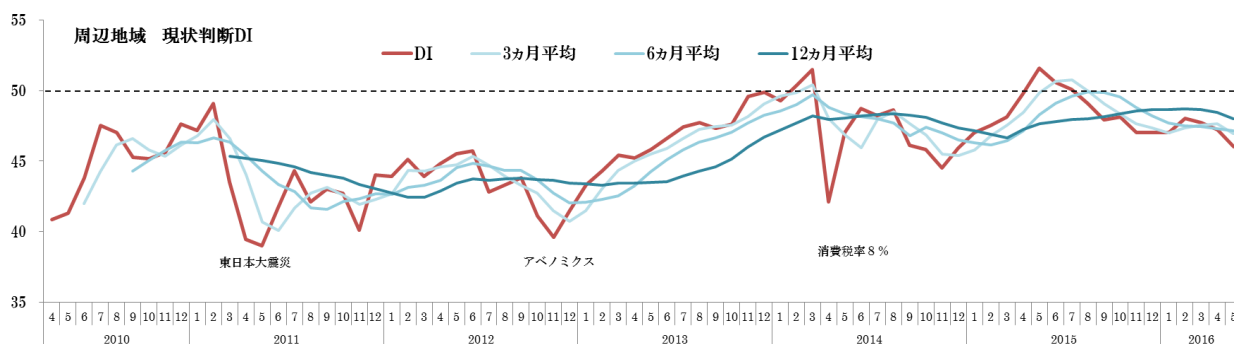
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	14.4	82.3	3.3	0.0	47.2
【現状】地域景気(当月)	0.0	18.8	78.5	2.8	0.0	46.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	1.9	13.4	81.3	3.3	0.0	46.5
【見通し】地域景気(当月)	0.6	20.4	76.8	2.2	0.0	45.2



#### 長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、2016年3月、直近5月も下落をみせた。

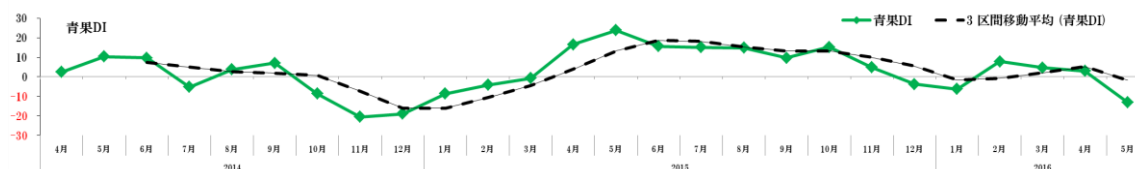
4月に12ヵ月移動平均が、2015年2月以来13ヵ月ぶりにマイナスを記録したが、他の平均線もすべてマイナス推移を続けており、引き続き弱含みな状況が続いている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-13.1（不調）

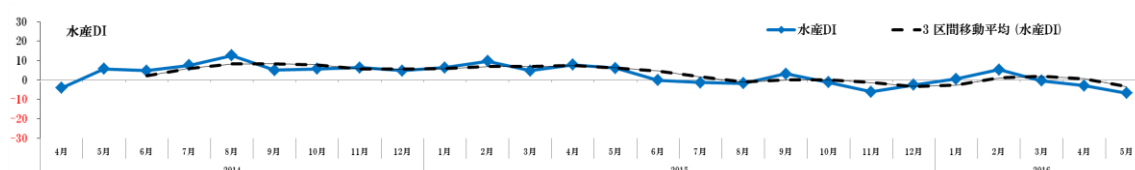
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	4.0	23.6	34.7	31.7	6.0	3.0
青果（当月）	<b>10.3</b>	<b>45.1</b>	<b>33.1</b>	<b>9.7</b>	<b>1.7</b>	<b>-13.1</b>



青果相場は下降傾向が続いており、前年相場が高騰していた反動も加わり、単価が大きく下落したため不調となりました。一方で果物は高値を維持しており、国産果物が品薄となっているもの、輸入果実（キウイ・オレンジ・バナナ）が好調とのコメントが多くみられました。

#### 2. 水産DI：-6.9（やや不調）

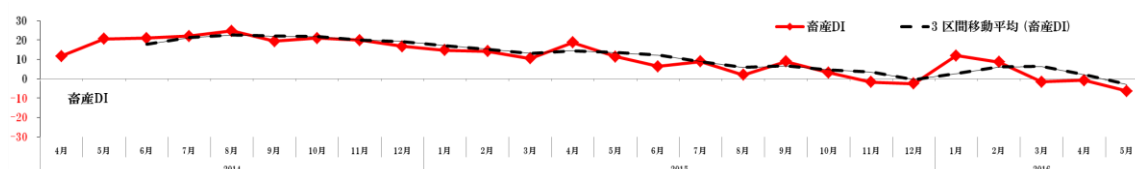
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	7.5	28.6	37.2	21.6	5.0	-3.0
水産（当月）	<b>6.9</b>	<b>40.6</b>	<b>30.9</b>	<b>16.6</b>	<b>5.1</b>	<b>-6.9</b>



月を通じて生魚の入荷不足や相場高が続いており、やや不調となりました。なかでも旬のカツオは水揚げの遅れなどや不漁、イカも品薄で不振とするコメントが多くみられました。GW 期間は好調に推移していた刺身類も中旬以降は不振となっています。週末の品揃えやタイムセール実施などの取組みが成果をあげている店舗もみられました。

#### 3. 畜産DI：-6.4（やや不調）

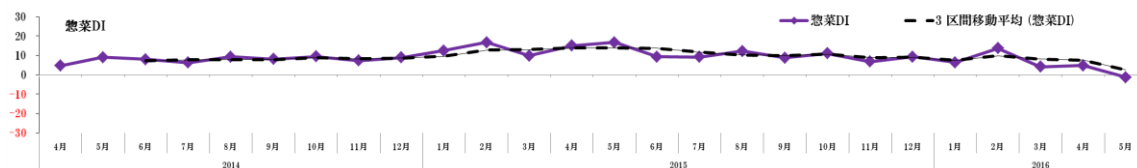
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	2.6	31.1	36.2	27.0	3.1	-0.8
畜産（当月）	<b>6.9</b>	<b>33.1</b>	<b>41.7</b>	<b>15.4</b>	<b>2.9</b>	<b>-6.4</b>



国産牛相場の高騰が続いているため、GW 期間は焼肉やバーベキュー用商材が好調となったものの、月を通じては伸び悩みをみせています。輸入牛・豚や鶏肉は好調とのコメントが多くみられました。一方で、前年よりすべてのカテゴリーで不調だったとする店舗もみられました。

#### 4. 惣菜DI：-1.3（やや不調）

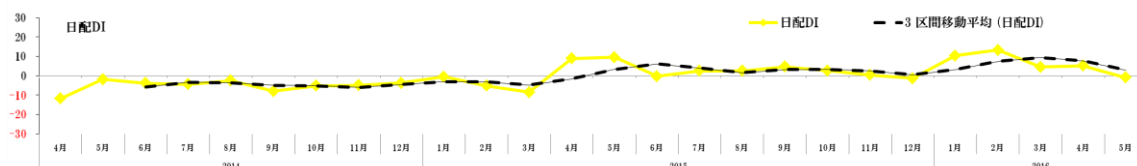
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.1	18.5	43.1	27.2	8.2	4.7
<b>惣菜（当月）</b>	<b>5.8</b>	<b>26.6</b>	<b>39.3</b>	<b>23.7</b>	<b>4.6</b>	<b>-1.3</b>



GW 期間中は比較的好調となりましたが、気温の上昇とともに涼味惣菜が好調、揚げ物などが不調となりました。客数の減少が大きく響いたとのコメントが多くみられています。売場の拡大や催事などの強化が成果をあげている店舗もみられる一方で、人手不足で対応しきれなかった店舗もあるようです。

#### 5. 日配DI：-1.0（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	1.5	18.6	41.7	34.2	4.0	5.2
<b>日配（当月）</b>	<b>3.4</b>	<b>27.6</b>	<b>40.8</b>	<b>25.9</b>	<b>2.3</b>	<b>-1.0</b>



熊本地震により、納豆やパンなどで商品供給に影響が続いています。前年も高温であった影響で、涼味関連商材（アイスやデザート、麺）などは伸び悩みをみせました。引き続き、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が好調となっています。メディアで取り上げられた梅干しに特需が発生している店舗もみられました。ドラッグストアやディスカウントストアなどとの競合による価格競争の厳しいとの指摘もあります。

#### 6. 一般食品：-3.7（やや不調）

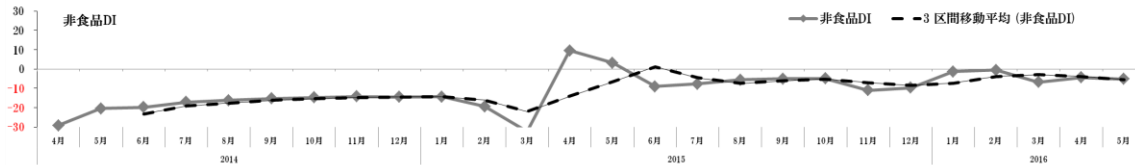
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	3.0	21.0	40.0	30.0	6.0	3.8
<b>一般食品（当月）</b>	<b>5.2</b>	<b>28.2</b>	<b>44.3</b>	<b>21.3</b>	<b>1.1</b>	<b>-3.7</b>

GW 期間中はビールを中心とした酒類が総じて好調となりましたが、その後も好調とする店舗と前年からの反動で伸び悩みをみせる店舗にわかれています。メディアで取り上げられた小豆・食酢に特需が発生している店舗もみられました。前年低迷していた反動で菓子や米類も好調に推移しています。ドラッグストアやディスカウントストアなどとの競合による価格競争の厳しいとの指摘もあります。



## 7. 非食品 DI：-5.3（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	7.2	30.4	39.7	18.0	4.6	-4.4
非食品（当月）	8.2	32.7	36.3	17.5	5.3	-5.3



殺虫剤などの季節商材の一部に動きがよくなっているものが見られますが、ドラッグストアなど他業態との競合で厳しい状況にあります。値上げされたタバコが不調となっています。一部には売場の縮小やリニューアルを実施している店舗もみられました。

### カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～20      好調：20～10      やや好調：10～0  
 やや不調：0～-10      不調：-10～-20      かなり不調：-20～

### 2016年6月調査（5月実績）キーワードTOP3

1. 青果相場安・牛肉相場高
2. ゴールデンウィーク後の客数減
3. 土曜日が一日少ない

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

5月実績速報版 183社  
 4月実績確報版 210社

### スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)